

習志野市障がい者基本計画等策定のための実態調査の結果について

1. 調査の方法

- 対象の人に郵送で調査票を配布し、無記名で郵送回収
- 特別支援学級及び通級指導教室に通う児童は学校を通じて、またひまわり発達相談センター利用者には施設を通じて配布し、無記名で郵送回収

2. 調査の期間 令和4年9月20日(火)～10月21日(金)

3. 調査票の回収結果

	対象者	対象者数	回収数	回収率
調査票1	各障がい者手帳を所持する在宅の人(18歳以上)	1,700	1,070	62.9%
調査票2	施設に入所・精神科に長期入院している18歳以上の人	150	109	72.7%
調査票3	各障がい者手帳を所持する18歳未満の人と保護者の人	401	268	66.8%
調査票4	発達障がいの人(18歳未満)と保護者の人	296	104	35.1%
調査票5	障がいのない人	1,000	505	50.5%
合計		3,547	2,056	58.0%

※調査票3と4が重複する対象者は、3を優先して回答いただくよう依頼しています。

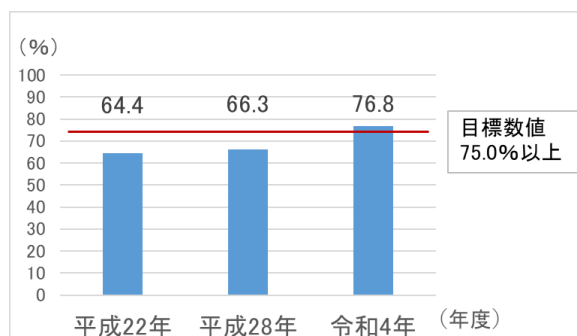
4. 調査結果の概要 ～重点課題の数値目標について～

重点課題1 障がいのある人への理解の促進

【障がいのない人対象調査】

【問6】あなたは、次のような機会に、障がいのある方と交流した経験はありますか。(複数回答可)

数値目標の指標 学校、職場などで障がいのある人と交流した経験のある選択肢の回答率

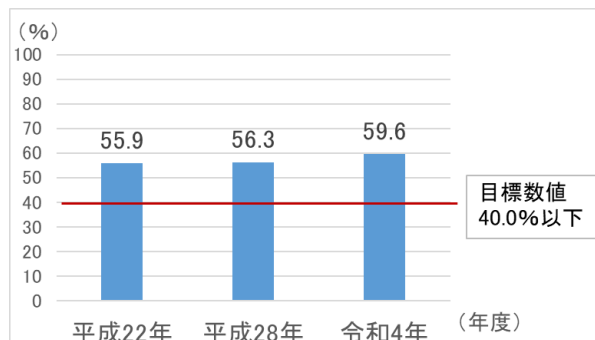


重点課題2 暮らしを支えるサービスの充実

【在宅の人(18歳以上)対象調査】

【問34】あなたは、障害福祉サービスの利用に関して困っていることはありますか。(複数回答可)

数値目標の指標 「どのようなサービスを利用できるのかわからない」、「事業者を選ぶための情報が少ない」、「サービス利用の手続きが大変」の選択肢の回答率の合計

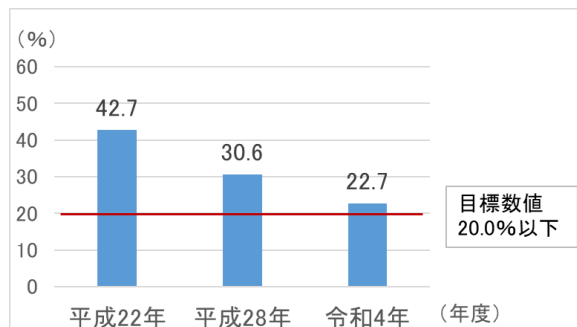


重点課題3 就労等を通じた社会参加の促進

【在宅の人(18歳以上)対象調査】

【問23】あなたが、働いていない理由は何ですか。(複数回答可)

数値目標の指標 「自分に合った仕事が見つからない」、「働く自信がないから」、「特に理由はない」の選択肢の回答率の合計

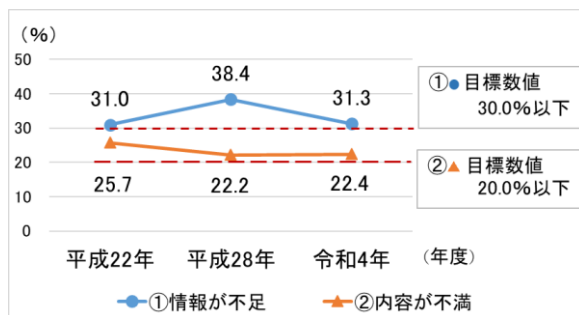


重点課題4 障がい児支援・発達支援の充実

【18歳未満の人と保護者の人対象調査】

【問23】 保護者の方には、療育・保育に関して困っていることがありますか。(複数回答可)

【問26】 あなたや保護者の方には、学校・教育について困っていることがありますか。(複数回答可)



数値目標の指標

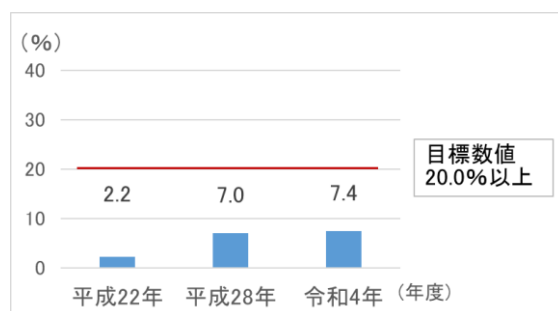
- ①「情報の不足」についての選択肢の回答率
- ②「内容への不満」についての選択肢の回答率

問 No	指標として選んだ選択肢
問 23	①療育・保育に関する情報が少ない ②療育や訓練の内容が十分ではない
問 26	①教育・療育に関する情報が少ない ②教職員の指導・支援の仕方が心配

重点課題5 相談支援の充実

【在宅の人(18歳以上)対象調査】

【問14】 あなたは、日常生活で困ったことや悩みについて、誰に相談していますか。(複数回答可)



数値目標の指標 「相談支援事業所」の選択肢の回答率

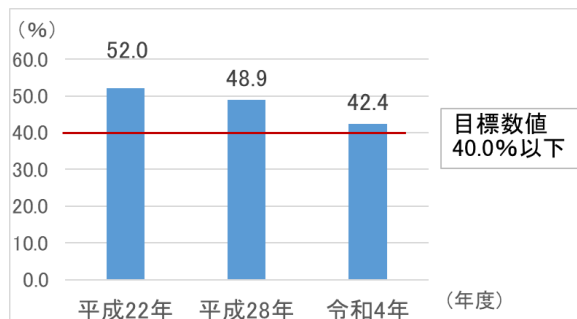
重点課題6 情報コミュニケーション保障と権利擁護の推進

【在宅の人(18歳以上)対象調査】

【問7】 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。(複数回答可)

【問21】 あなたが、仕事をする上で困っていることは何ですか。(複数回答可)

【問28】 あなたには、外出するときに困っていることはありますか。(複数回答可)



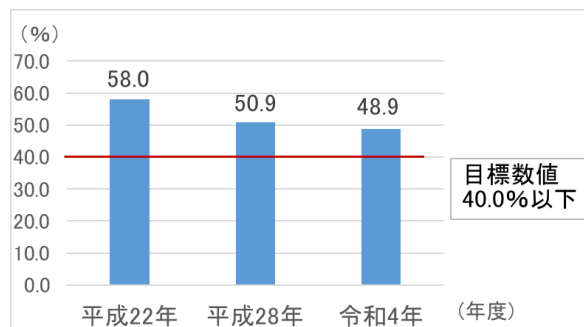
数値目標の指標 周囲とのコミュニケーションについての選択肢の回答率の合計

問 No	指標として選んだ選択肢	
問 7	症状を伝えるのが困難	医師の指示の理解が困難
問 21	相談相手がいない	周囲の障がいへの理解が不足
問 28	周りに手助けを頼みづらい	交通機関の利用方法がわからない

重点課題7 社会資源の充実

【在宅の人(18歳以上)対象調査】

【問28】 あなたには、外出するときに困っていることはありますか。(複数回答可)



数値目標の指標 「歩道の段差や障害」、「建物の段差や階段」、「周りの人に手助けを頼みにくい」の選択肢の回答率の合計